

2025年11月14日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、経営方針において「農家とJAが一体となって取り組む『農業生産を支える人・組織づくり』の強化によって農業所得の増大・農業生産の拡大に取り組む」とともに、「准組合員のJA事業への積極的な参画等によって地域の活性化に取り組む」こととしております。そうした理念のもと、「お客様本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、お客さまの安定的な資産形成と「ひと・いえ・くるま及び農業への総合保障」の提供を通じた豊かな生活づくりに貢献するための具体的な取組を実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

伊万里市農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客さまのニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより商品数が増減いたします。
- なお、お客さまの最善の利益の実現するため、JAバンク全体として2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社に販売状況等の情報を提供するなど情報連携を開始する予定です。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）＞

＜商品選定の考え方＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	6 (前年度末：6)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	2 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

お客さまに提供する投資信託商品の選定にあたっては、JAバンクの全国機関である農林中央金庫が以下①～⑤を基準として選定した「JAバンクセレクトファンド」を取扱商品として選定しております。

- ①「長期投資を前提とした商品性」
- ②「相対的に良好な運用実績」
- ③「良心的な手数料設定」
- ④「過去の運用成績の再現可能性」
- ⑤「過度な分配を追及しない運用方針」

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

当組合は、お客さまが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、各支所、出張所に共済渉外担当のライフアドバイザー、窓口を担うスマイルサポーターを設置し、交通事故対応を行う安心サポーターと連携を図り、最良で最適な共済の仕組み・サービスを提供しております。

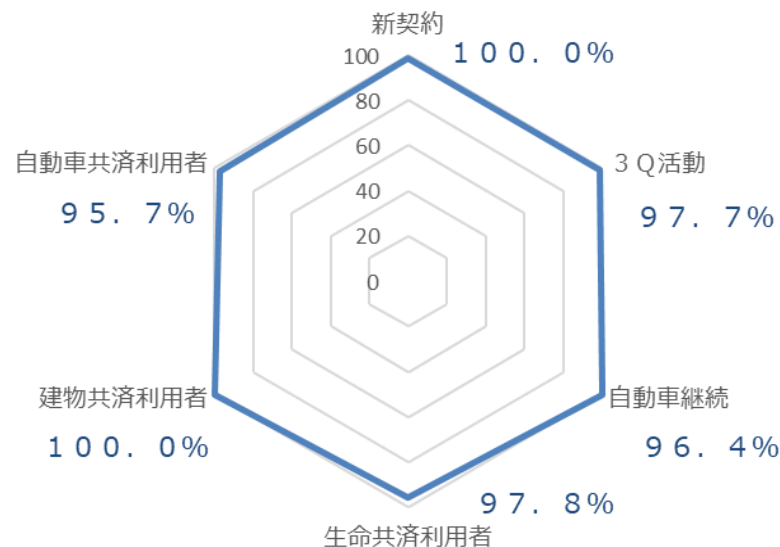
なお、当組合は、市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）の提供は実施しておりません。

● J A 共済利用者総合満足度

総合満足度

95.6%

※総合満足度・・・加入時、保障時、支払時の各プロセスの利用者の満足度を合わせた総合満足度。



※プロセス満足度・・・各利用者接点に対する満足度

I.取組状況

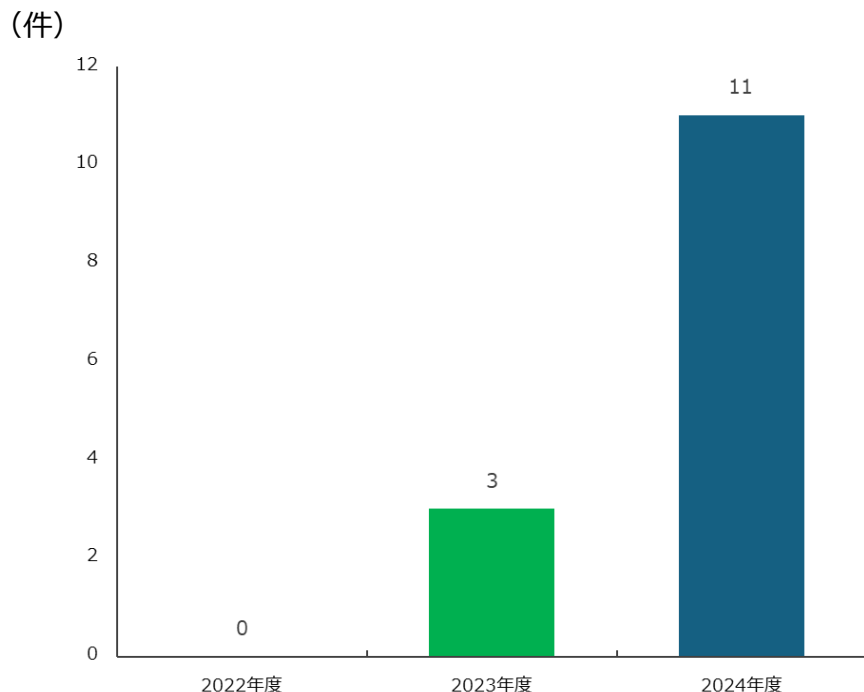
2 お客さま本位の提案と情報提供①

【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文および（注 1 ～ 5）、
原則 6 本文および（注 1 ～ 7）】

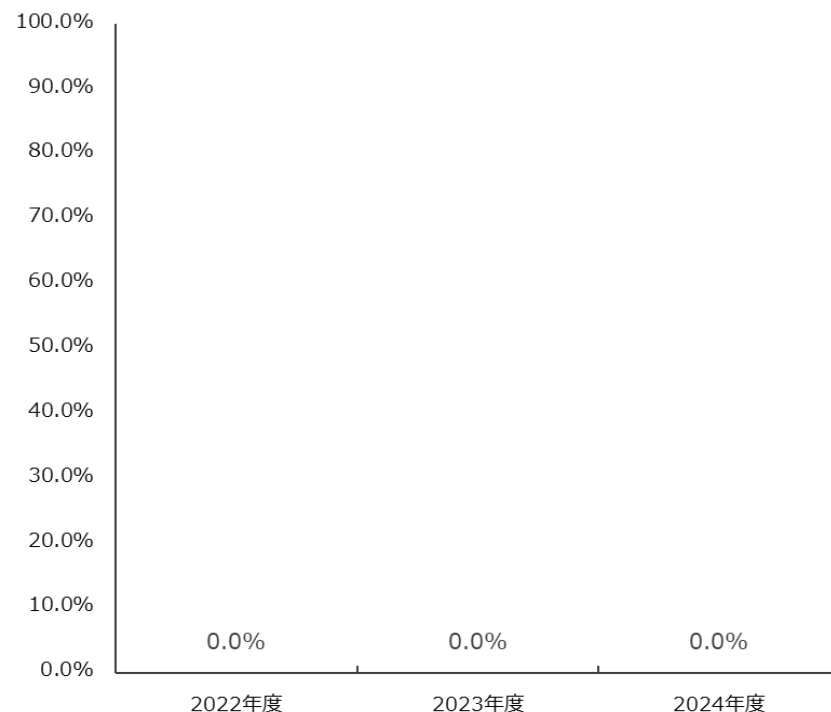
（１）信用の事業活動

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行った結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加し、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客さまはございませんでした。
- 提案にあたっては各種資材を用いながら、ご高齢の方には家族同席をお願いし、慎重かつ丁寧な対応により商品に対する理解度の十分な確認を行い、お客さまの属性・適合性を判断したうえで適合性の原則に則したご提案を行っております。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

（1）信用の事業活動

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、以下の資材等を活用し、最適な提案と分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

【資材名称】

・目論見書、販売用資料

→ファンドの運用会社が独自に作成するもので、個別ファンドの有するリスク特性や手数料、運用成績等が掲載されている資料

・JAバンクセレクトファンドマップ

→ファンドの運用対象とリスクをマトリックス化し、各ファンドをマトリックス内に配した一覧表で、お客様のリスク許容度に応じた商品を選択するための資材（JAバンク共通）

・重要情報シート

→JAバンクセレクトファンドを構成する全ファンドについて、金融庁が策定した様式に準じて（他金融機関等と同一形式で）商品内容や運用実績、費用等について説明する資材（JAバンク共通）

I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- ①ライフアドバイザーを中心とした3Q活動により、お客さまに寄り添い、安心と満足を届けております。
- ②お客さまに対して、各種公的保険制度等にかかる情報提供を行い、一人ひとりの加入目的・ライフプラン等に応じた、最適な保障・サービスをご提案しております。
- ③保障の加入にあたっては、お客さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、分かりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施しております。
- ④ご高齢のお客さまに対しては、より丁寧に分かりやすくご説明し、ご家族も含めて十分ご納得、ご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細やかな対応を行っております。
- ⑤保障の加入にあたり、共済掛金の他にお客さまに手数料等はお負担いたしておりません。
- ⑥共済のご加入から共済金のお支払いまで、お客さまに分かりやすいご説明を心がけるとともに、日々の接点を通じてより安心いただけるアフターフォローを実施しております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

- ・お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、当組合の定める「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- ・また、利益相反管理の状況をリスク管理部署において定期的なモニタリングを実施して検証・評価を行います。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

人材育成にあたっては、以下の取り組みを行っております。

（信用事業）

- ・登録外務員等が全国システムによる再研修を毎年受講することにより、最新の法令等による規制や社内規程（系統内規則）の習熟を図ります。また、農林中金アカデミーが開催する専門家による研修を受講します。

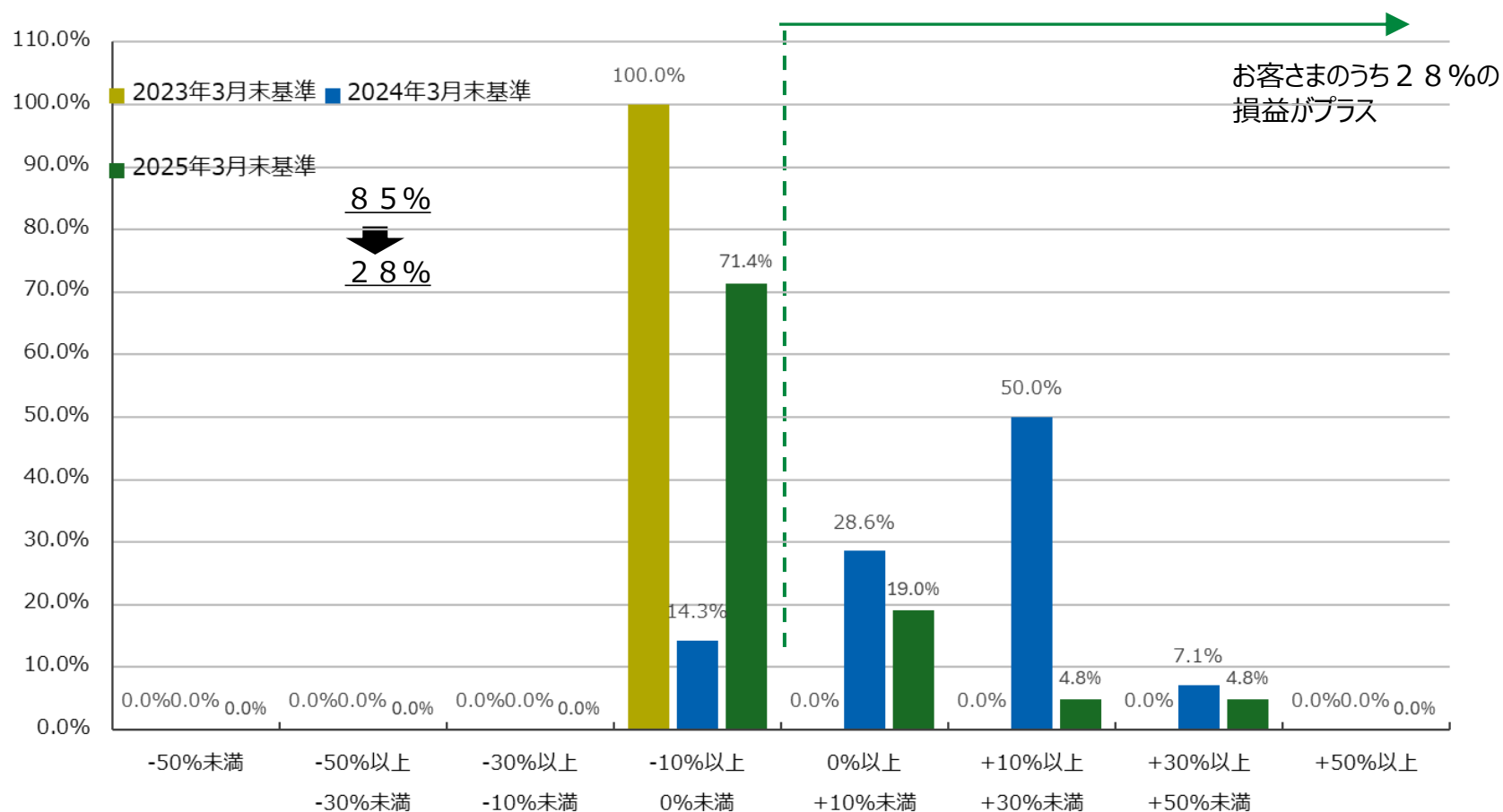
（共済事業）

- ・公的保障研修や共済契約税務研修を継続的・定期的に受講し知識の習熟を図るとともに、お客さまの保障ニーズに応えるため、FP2級技能士等の資格取得に取り組んでいます。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の28%のお客さまの損益がプラスとなりました。

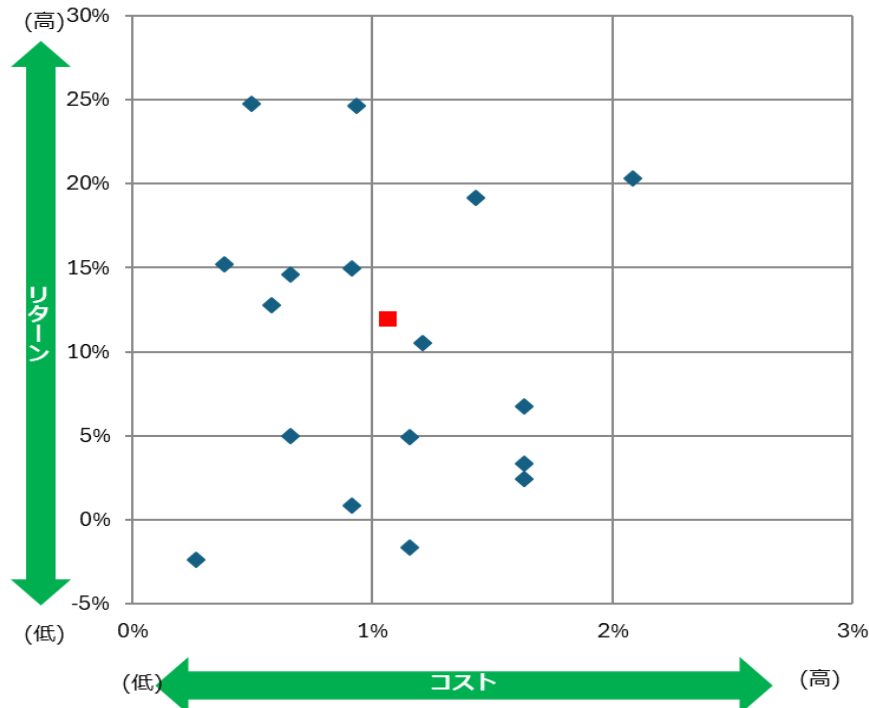


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

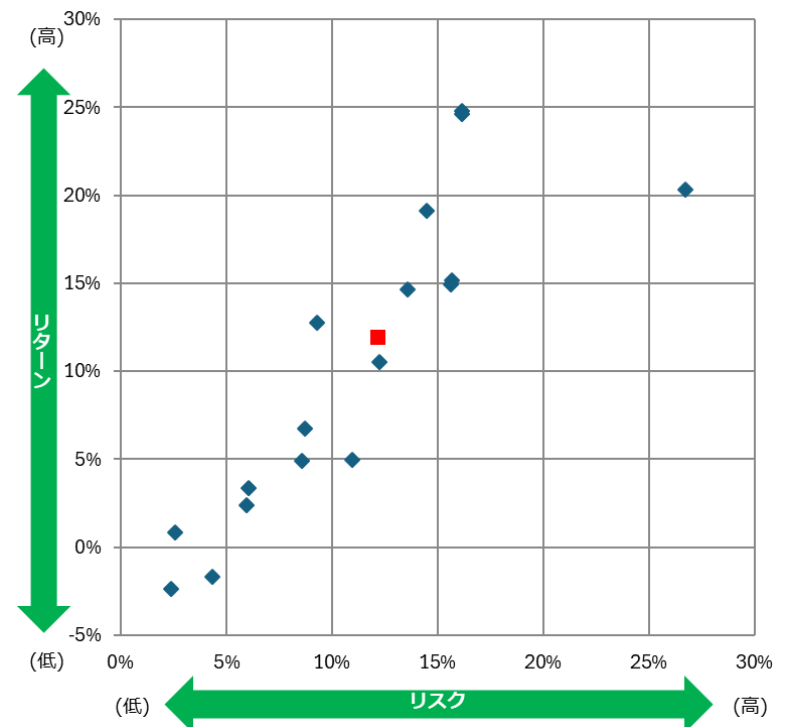
- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.06%、平均リスク12.17%に対して、平均リターンは11.95%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞

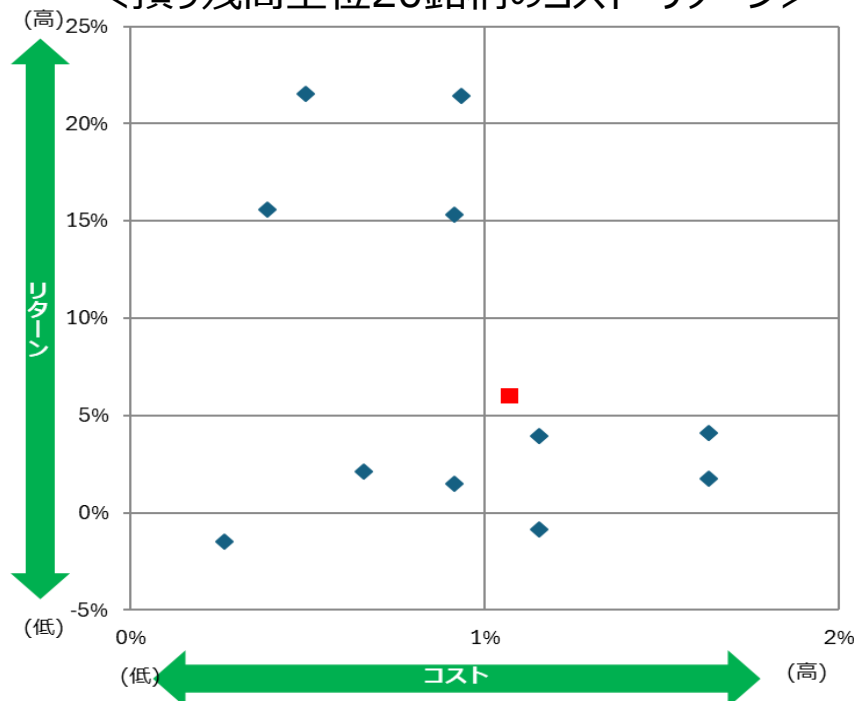


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

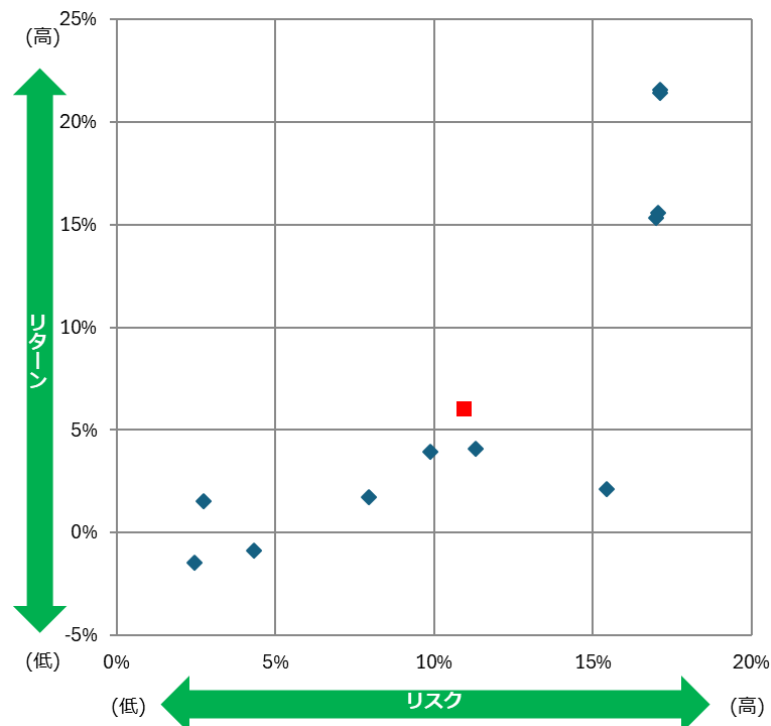
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.07%、平均リスク10.94%に対して、平均リターンは6.00%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞

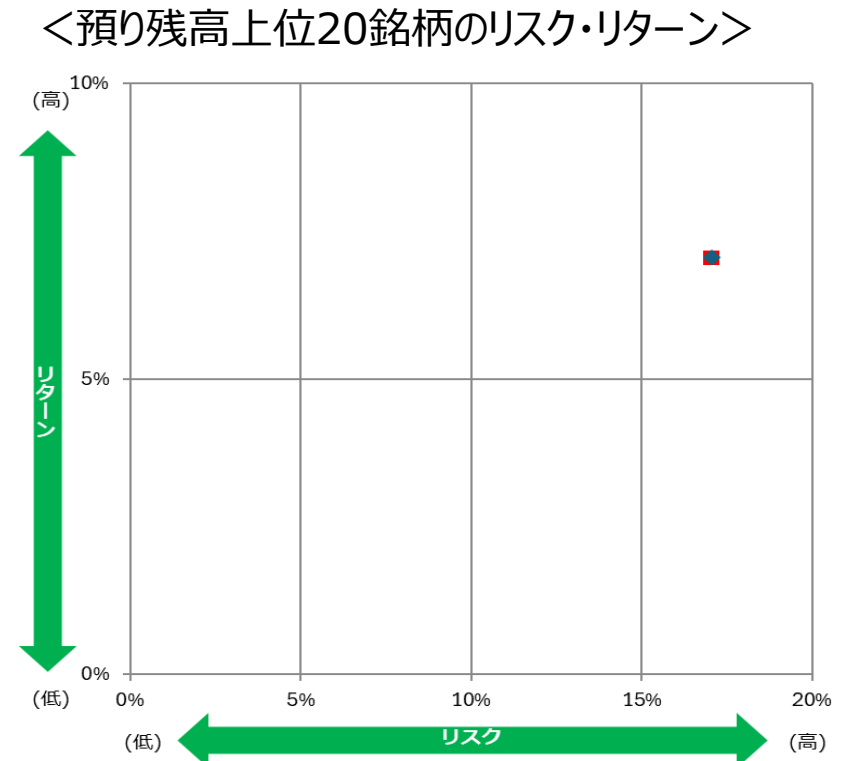
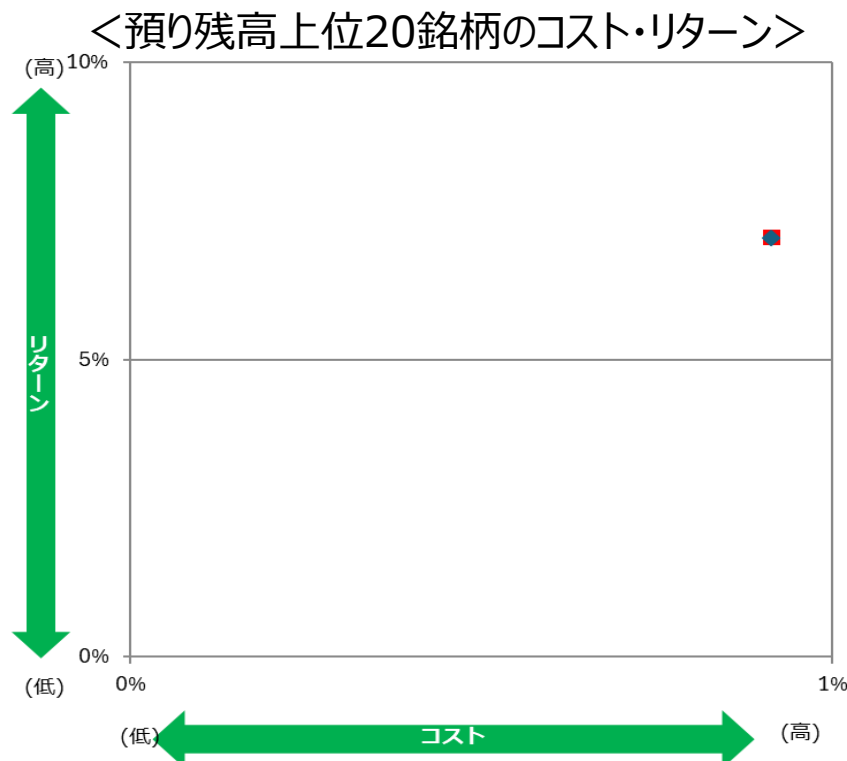


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.91%、平均リスク17.04%に対して、平均リターンは7.05%でした。



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
4	J-REITインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.99%	10.96%	0.66%
5	HSBC世界資産選抜 充実生活コース(定率払出型) 人生100年時代	HSBCアセットマネジメント(株)	2.42%	5.98%	1.63%
6	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
7	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
8	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
9	バイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
10	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
11	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	0.87%	2.57%	0.91%
12	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
13	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
14	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
15	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
16	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
17	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		11.95%	12.17%	1.06%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は17本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
2	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
4	J-REITインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
5	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
6	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
7	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
8	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
9	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
10	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
11	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.00%	10.94%	1.07%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.05%	17.04%	0.91%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は1本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。